

水草研究会第33回全国集会講演プログラム

●口頭発表(8月20日(土)13:00~16:20):自然史博物館 学習室

1. 13:00- 渡邊広樹¹・芹澤(松山)和世²・芹澤如比古¹(¹山梨大・教育人間科学、²山梨県環境科学研究所):富士北麓、山中湖と西湖の光環境と水生植物の分布下限水深
2. 13:20- 佐藤裕一¹・深代牧子²・芹澤(松山)和世³・芹澤如比古¹(¹群馬県佐波郡玉村町立玉村中学校、²高崎商科大学附属高等学校、³山梨県環境科学研究所、¹山梨大・教育人間科学):富士北麓、山中湖の水位変動に関連した水生植物の種組成と現存量-2008~2010-
3. 13:40- 倉園知広・角野康郎(神戸大院・理学研究科):日本産ガマ属の比較生態学的研究
4. 14:00- 大森威宏(群馬県立自然史博物館):群馬県の水生植物相とその現状-タカノホシクサからミズヒマワリまで-
5. 14:20- 國井秀伸(島根大・汽水研セ):宍道湖での突発的な水草の分布拡大について
6. 14:50- 福原晴夫(新潟大・教育):鳥屋野潟(新潟市)の浮葉植物-消えたヒシとアサザの維持
7. 15:10- 今本博臣¹・清水竜太²(¹水資源機構・環境室、²水資源機構・利根下流総合管理所):霞ヶ浦における沈水植物再生の取り組み
8. 15:30- 西廣淳(東大・農学生命科学研究科):日本の湖沼植生の変遷の把握に向けて
9. 15:50- 角野康郎(神戸大院・理学研究科):絶滅危惧水生植物の現状~あの種はどこに?

●ポスター発表(8月20日(土)):コアタイム16:20~17:00

- P1. 松本さおり¹・石田真也¹・高野瀬洋一郎²・紙谷智彦¹(¹新潟大院・自然科学、²新潟大・超域研究機構:現在(株)グリーンシグマ):越後平野の農業用水路網における植物出現状況~水湿生植物の出現と水路構造~
- P2. 小林真吾(愛媛県総合科学博物館):ため池改修に伴うミズスギナの保全事例
- P3. 藤井伸二¹・山本和彦²(¹人間環境大学、²三重県立尾鷲高等学校):紀伊半島東部の海跡湖群に生育する湿性および水生の希少植物
- P4. 加藤将・坂山英俊(神戸大院・理学研究科):シャジクモ(*Chara braunii*)に見られる生態的2型の進化生物学的解析
- P5. 加藤将・柴田葵・坂山英俊(神戸大院・理学研究科):絶滅危惧種の多様性情報学と域外保全技術開発に向けて~シャジクモ類を例に~
- P6. 柴田葵¹・川井浩史²・坂山英俊¹(¹神戸大院・理学研究科、²神戸大・内海域セ):車軸藻類フラスコモ属6種の分類学的研究
- P7. 永坂正夫(金沢星陵大・人間科学):外来種チクゴスズメノヒエ群落中の溶存酸素動態
- P8. 吉澤一家・江頭恭子・肥田宏美(山梨県衛生環境研究所):沈水植物による底泥巻上げ抑制効果に関する基礎実験
- P9. 林知崇¹・森田晃央²・倉島彰¹・前川行幸¹(¹三重大院・生物資源、²京都府農林水産技術センター海洋センター):アマモ種子の発芽及び初期生長過程における嫌気環境への適応
- P10. 藤井瑞穂¹・森田晃央²・倉島彰¹・前川行幸¹(¹三重大院・生物資源、²京都府農林水産技術センター海洋センター):アマモ種子発芽時における胚軸毛の形成とその生長